

第2回市民学校から①

第二回市民学校が五月二十四日から二十九日までの六日間、中央公民館で開かれました。今年は、約百人の申込者があったものの、実際に受講されたかたは、連日四十人程度でやや寂しい状態でしたが、それでも熱心なご婦人たちは貴重な話に聞きいってました。広報では、都合により受講できなかった人たちのために、五つの講演の中から三つ取り上げて掲載していきます。

子どもの瞳を輝かすために

横川遊亀寿

(県立野市青少年センター指導課長)

子どもたちの姿を、あまりに他人のせいにはしていないか……。今、高等学校で中途退学する生徒は年間十万人もあり、登校拒否する子どもは九万六千人もいます。お母さんが相談に行くと、「先生、なぜ子どもたちをしっかりと受けとめてくれないのですか。」と言うと、先生は、「無理です。義務教育ができてない」と。中学校で聞けば、「小学校でちゃんとしていないから」と。小学校で聞けば、「やっぱり親です」と言っている。だれも私のせいでは受けとめてくれない。

●我が子を持った喜びを表現できる親が子育てができる。子どもが、たまたま早く帰って来たとき、お母さんは「おかえり、どうしてこんなに早いのか」と言います。なぜお母さんは、もつと喜んであげないのですか。「おかえり、今日はおかあちゃんに長くついてやらないのか」と、なぜ言っ

●子どもは、父親と母親に育てられますが、それぞれ役割が違います。お母さん、父親は責任感の反面うぬぼれ屋ということを知ってくださいます。ダメだ、ダメだと言われたら、絶対ダメになつてしまします。一方、お母さんは、早の込み込みで比べるのが大好きというのを自覚してください。

●子どもは、①動きまわるもの②自信家で比べられるのが大キライ。かき足したら、真つすくさず横にして走り出す子、長くつをはかしたら、水をいっばい入れてはく子。子どもたちは、どんなに



文化財をたずねて⑨

《四合測》

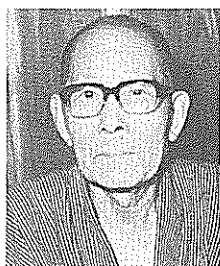
奈路から黒滝に通ずる道を、しばらくのぼり、中屋敷郷の地にはいると、道のすぐそばをだらだらとさがったところに、四合測という小さな測がある。

今はすっかり浅くなってしまっているが、その昔は、うす気味悪いまでに青々と澄んだ深い測であった。その測には、毎日、四合の飯しか炊くことがない家に嫁いできた娘が、家風を破ったために、発狂して身を投げたという言い伝えがあり、いろいろな異変が起ったといわれている。

遠郷に住む

棚橋正登さん(78)の話

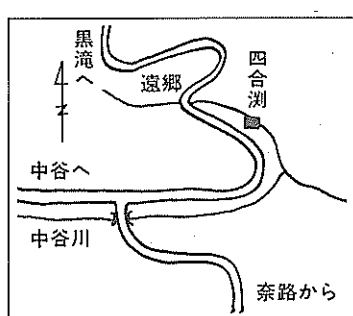
祖父に聞いた話ですが、シゴウヤシキというところに、一日四合の飯を炊けば、何人のお客があつても足りるという農家があつたそうです。



棚橋正登さん

しいことになったと思い、釜をかぶって測に身を投げ死んでしまいました。母親も後を追って、身を投げけいっしよに死んでしまったとのこと。その後、四合測には不思議なことが多く、子どものころは恐れてあまり近づきませんでした。えびを突きにきた人が、たらいの大きなもある大きな目を見たとか、山鳴りが聞こえたという話がよくあります。

豊滝神社(上) うす暗い四合測(下)



測の東側の大岩の下に豊滝神社があり、十年ほど前までは、毎月欠かさず一日と十五日に、朝早くから祭りに行っていました。あるとき、お宮のふき板が下がっていたので、押し上げようとする。何か引つかかるものがあります。そこで、ふき板を引っぱり出してみると、なんと、首に輪の縋模様が

あり身体は赤や白の線の入ったへびが、十センチくらいにとろろを巻いていました。これが、まさにご神体と思ひ驚いたものでした。総代さんに知らせに行くと、もういません。結局、ご神体のへびを見たのは私が二度と、妻が一度だけでした。やはり、日ごろ信心したおかげと思つたものです。

夏の風物詩「楽しい」盆踊りの日程は次のとおりです。

各地区の盆踊り

- ◇7月
 - 17日(土) 十市、日章
 - 24日(土) 三和、奈路
 - 31日(土) 大篠
- ◇8月
 - 7日(土) 岡豊、久礼田、国府

場所は各小学校グラウンドで、瓶岩は瓶岩公民館です。



7月の行事

- 10日(土)、24日(土) 無料法律相談 10時~12時、社会福祉センター、電話予約が必要。 ☎ 4444
- 20日(火) 人権行政相談(10時~3時、社会福祉センター)